



えひめ

Contents

- ・現場だより
松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業
ヘルメット片手にさあ行こう！ -現場見学会開催報告-
- ・2011年度 全建賞（港湾部門）を受賞しました！
- ・愛媛の"みなと" 賑わい探訪～八幡浜市～
- ・海面清掃兼油回収船『いしづち』出動
- ・みんなの力で瀬戸内海を美しく！

所長室から



今年も8月に入り、半年が経過しました。松山港湾・空港整備事務所においても、本年度実施する松山港の泊地浚渫工事も本格化し、工事現場も活気がでてきました。ご存じのとおり、6月中旬の台風4号から梅雨が明けた7月中旬まで、まとまった雨が連続し、工事の進捗にも影響が懸念されましたが、一部小さなトラブルはあったものの、予定していた工事が順調に進んでおります。

また、梅雨明け後、暑い日が続いています。普段の生活においても、疲れがたまりやすく集中力が低下しやすくなります。無理な工事・作業は、工事事故の原因にもなりますので、工事関係者の皆様には、心身ともにしっかり休養して、この暑い夏を事故なく乗り切って頂きたいと思います。

さて、過去に当事務所は、松山市近郊和気地区、堀江地区において海岸整備を行いました。整備前には、台風時に高潮などの影響もあり、護岸を越波し、背後の住宅へ浸水被害があったことから、その対策としてこの事業を実施しましたが、台風時だけでなく、通常時の海

岸利用も考え、既存の護岸の全面に砂を敷き、景観や利用面を考慮した施設となっております。

幸いにも、夏のシーズンには、多くの松山市民の方に、海水浴、マリンスポーツ、バーベキューなどを楽しんで頂いており、また、毎年7月中旬には、地元公民館が主催となり、津波などの災害発生時を想定した「大声大会」が開催されました（今年で通算5回目）。

こうした海岸の利用、海岸整備を担当した者としては、大変有り難く思っており、今後ともこうした取り組みを続けていくためにも、美しい海岸を保っていくことが大切なことかなと考えております。

今回の広報誌にも記載していますが、瀬戸内海に面する関係の国の機関、地方自治体の皆様と連携し、「リフレッシュ瀬戸内」と表した海岸清掃活動を実施しております。今年は、伊予市尾崎海岸において、当事務所職員も参加し、地元の伊予市、特に尾崎区の皆様、当事務所の受注業者など多くの方と一緒に海岸清掃を行いました。

海という自然の恵みをいつまでも気持ちよく利用するために、今後とも当事務所もこうした取り組みに積極的に参画していきます。

広報誌をご覧の皆様にも、夏のレジャーなどにお忙しいとは思いますが、ほんの少しの協力をお願いできればと思っております。



現場だより

○松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業

当事務所では、松山港の取扱貨物量の増加や船舶の大型化に対応するため外港地区において国際物流ターミナルの整備を進めています。

はくち

現在は、泊地*に必要な水深を確保するために海底を掘削する工事を実施しています。

今後も、安全な作業に努めてまいりますのでご協力をお願い致します。

※泊地

港湾内で船舶が安全に停泊することの出来る水面



▲松山港外港地区 全景



★表紙の船のクレーンの先には何がついてるの？

表紙の船は、グラブ式浚渫船です。

クレーンの先にはグラブバケット（写真右）がついています。

松山港の浚渫に用いるグラブバケットは、

1回で約8m³の土砂つかを掘み取ります。

これは、10トントラックの1.5台分に相当します。



○ヘルメット片手にさあ行こう！

ー現場見学会開催報告ー

6月12日、26日、愛媛大学工学部環境建設工学科の学生（1回生）を対象に現場見学会を開催しました。

今年の見学会は、愛媛大学の講義室で概要説明を行った後、松山空港、松山港外港地区の工事現場、和気海岸を見学して頂きました。

この見学会は、見識を広げ、優秀な技術者の育成を支援するために、愛媛大学と当事務所が毎年開催しているものです。

学生のみなさんは、慣れないヘルメットに戸惑いつつも、現場担当者に質問をしたり、作業の様子をカメラで撮影したりと熱心に学んでいました。



▲事業概要説明



▲外港地区での説明



▲和気海岸見学

出前講座・現場見学会のご案内

四国地方整備局では、以下の取り組みを行っています。
詳しい内容についてはホームページをご覧ください。

出前講座・・・職員を派遣しての事業説明及び意見交換

○<http://www.skr.mlit.go.jp/kaisai/demae/demae.html>

現場見学会・・・工事中の現場のご案内等

○<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/spotguide/top.html>

○2011年度 全建賞（港湾部門）を受賞しました！

松山港海岸和気地区整備事業及び和気浜緑地環境整備事業※

当事務所と松山市が実施した「松山港海岸和気地区整備事業及び和気浜緑地環境整備事業」が、社団法人全日本建設技術協会の2011年度全建賞を受賞しました。

本賞は、社団法人全日本建設技術協会が「建設技術の活用」や「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、目覚ましい成果が得られた事業や施策に贈られるもので、1953年に創設された伝統ある賞です。

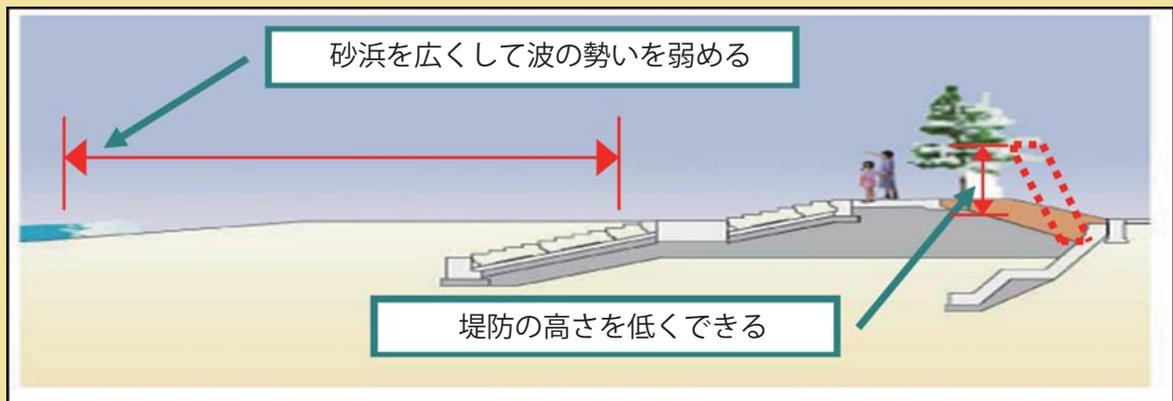
6月29日に東京・アルカディア市ヶ谷において開催された表彰式には、松山市から都市整備部公園緑地課 松田主査、この事業の工事を担当した東洋建設株式会社、当事務所長が出席しました。

当事務所に取りまして、全建賞の受賞は大変喜ばしいことであり、これまで本事業に携わったすべての方に感謝申し上げるとともに、今後とも、国民の皆様にも、理解、共感が得られるような整備事業を進めて参りたいと考えております。



※松山港海岸和気地区整備事業及び和気浜緑地環境整備事業

- ・堤防、砂浜といった複数の施設によって面的に防護する「面的防護方式」で整備しました。
- ・海岸背後には松山市によって市民が憩いの場と出来るような公園が整備されました。



▲面的防護方式の仕組み

○港弁 企画賞受賞！

港を中心にしたまちの活性化を目指して、市民を中心に設立された「八幡浜港みなとまちづくり協議会」が地域振興のひとつとして取り組んだ『港弁 全国化プロジェクト』が、日本港湾協会の企画賞を受賞しました。

その受賞記念報告会が、6月16日（土曜）に八幡浜市の新町ドームで開催されました。



報告会では、大城一郎八幡浜市長より受賞報告とそのお礼を述べた後、山本公一議員、高橋英行議員からの祝辞を受けて、谷本会長（写真左）が「八幡浜港の活性化の取り組みを、街の中心である新町商店街の活性化につなげたい」と力強く宣誓されました。

愛媛の"みなと" 賑わい探訪～八幡浜市～



- ▲(左) 大人気の港弁、170個が売り切れに！
- ▲(右) 「ひめキュンフルーツ缶」ミニライブ

※日本港湾協会企画賞

港湾に関する映像、著作、イベント等において、その企画表現が特に優れたもので、港湾の啓蒙、整備促進への貢献等が顕著であった個人又は団体に贈られます。



みんなで守ろう、きれいな瀬戸内！！

○海面清掃兼油回収船「いしづち」出動

6月4日午後10時頃、愛媛県松山市二神島西南西約1.5kmの海上で、貨物船「第五天光丸」(199ト)と押船「翔洋丸」(121ト)の衝突事故が発生しました。

この事故で押船「翔洋丸」が沈没し油の流出がありました。当事務所では、第六管区海上保安本部からの要請を受け、5日から海面清掃兼油回収船「いしづち」及び港湾業務艇「くるしま」を出動させて、沈没した海域付近にて流出した油の防除作業(放水・航行拡散)、情報収集作業を実施しました。



▲航行拡散中の『いしづち』

○みんなの力で瀬戸内海を美しく！

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」※1の活動の一環として瀬戸内海沿岸の海岸を清掃する「リフレッシュ瀬戸内」※2が6月から8月にかけて各地で実施されております。

愛媛ブロックの拠点地となった伊予市では7月15日に市内の各海岸で一斉に大掃除が行われました。

地元自治会や小学校の児童、多数のボランティアによって流木やプラスチック、金属など様々なごみが地区全域で約40ト回収されました。



▲たくさんの人にご協力頂きました



▲回収されたゴミの山

- ※1 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、1991年5月に設立されました。
- ※2 リフレッシュ瀬戸内
海浜の清掃活動という“誰もが参加しやすい活動”を通じて“美しい瀬戸内を守っていく”ことを訴えていくために取り組んでいる活動です。



国土交通省 四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058
松山市海岸通 2426-1
TEL 089-951-0161 (代表)
FAX 089-946-8010

